

広告料を財源とした市民、企業、行政の3者による協働のまちづくり

自治体情報

人口 32,347人

標準財政規模 7,346,294千円

担当課 茨城県 高萩市 総務部 企画課

電話番号 0293-23-2118

ホームページ <http://www.city.takahagi.ibaraki.jp>

事業期間 平成19年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取り組みに至る背景

市民活動の高まりとともに、新たな市民ニーズに柔軟に対応できる支援策の必要性が高まってきた。地域の活性化、住民福祉の向上など市民の自由な発想による自主的な取組を支援することで郷土愛を育み、個性的で魅力あるまちづくりを目指すため補助金制度の創設を検討した。

しかしながら、市では行財政改革を実施しており、既存の補助金の一律カットや廃止を行なっている中で新たな補助金制度の創設は困難であった。

このため、補助金の財源を得るため市が発行する広報誌に有料広告を掲載し、その広告料を新たな財源としてこの事業を実施することとなった。

2 事業内容（目的・目標・方策）

本事業は、「高萩市こころの里シティづくり補助金交付要項」に基づき、市内の各種団体が自ら企画、実施し市民が受益者となりえる公益的な事業に対し10万円を限度として補助するものである。補助対象事業の選定については、公募による市民と市職員で組織する選考委員会で決定する。これまでに選定した団体の事業は、海岸の堤防に絵を描くイベント、マイバッグ持参の推進活動、ボランティア観光案内活動などで、平成19年度は5団体、20年度は10団体に対し助成を行なった。

この事業費の財源は前年度に掲載された広報誌等への有料広告収入である。広告収入を「地域振興基金」に積み立て、翌年度に同額を取り崩して補助金の財源としている。平成18・19年度の2カ年では合わせて25社、135万円の広告料収入があった。



こころの里 シティづくり大会開催

6月20日、リーベロたかはぎを会場に「こころの里シティづくり大会」が行われました。団体の事例発表や成田銀行式（認定NPO）常務取締役を講師に迎え助成団体のマネージメント支援を行ないました。各団体の活動報告やディスカッションを通して活発な意見交換が行われ、また参加した団体間の交流が図られました。

海岸アートのプロジェクト

以前から行われていた「海岸アートプロジェクト」を今年も実施し、市民の参加を促すことができました。

花薺川清流のつくりかえり

このころの里シティづくり補助金を活用し、花薺川清流のつくりかえりプロジェクトを実施しました。

ボランティアグループ

高萩市ボランティアグループが、高萩市ボランティアグループの活動を支えています。

まちづくり活動を支援する

広告募集

高萩市広報誌「こころの里」に掲載の広告を募集しています。広告料は市内で活動するまちづくり団体に補助します。詳しくは広報誌P27～280までお読みください。

種別	1ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	備考
平日版ホームページ広告	5,000円	25,000円	50,000円	掲載日の掲載期間が1ヶ月以上ある場合は、1ヶ月分を減額する
週末版 図説5x5欄(1x1)	9,000円	45,000円	90,000円	掲載日の掲載期間が1ヶ月以上ある場合は、1ヶ月分を減額する
週末版 図説5x5欄(2x1)	18,000円	90,000円	180,000円	掲載日の掲載期間が1ヶ月以上ある場合は、1ヶ月分を減額する
週末版1行(図説5x5欄)	40,000円			1面の申込み
週末版1行(図説5x5欄)	80,000円			最大3ヶ月

平成20年度補助金交付団体

高萩さくら会
高萩ふるさと案内人の会
海岸アートプロジェクト実行委員会
まちづくり推進協議会
花薺川清流のつくりかえり
高萩音楽実行委員会
財かやまの会
高萩野だんすずまいと
秋山地区三世代交流
高しつなみんらの広報実行委員会

また、補助団体を対象に専門家による講演や事例発表、ワークショップ等からなる「こころの里シティづくり大会」を開催し、補助金の交付だけでなく団体の運営力強化や組織の活性化、団体の交流を図るための場を設けている。

3 施策の開始前に想定した事業効果

市民主体の取組を支援することで、新たな地域づくりへの気運が芽生え、団体相互の人的交流の促進が図れる。また、企業については社会貢献の場を提供することができる。

4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

広報誌とまちづくり推進の担当課が同じであったため事業をスムーズに開始することができた。

補助金に対する市民の関心が高まりつつあるにも関わらず、広報誌紙面の広告スペースは限りがあるため、広告料収入が頭打ちになってしまった。このため新たな財源を確保するため、平成20年度には広報誌、ホームページバナー広告に加え、窓口用封筒に広告の掲載を始めた。



5 現在の成果・実績、今後の展開など

市民の関心も年々高まりつつある。初年度が5団体、翌年度は10団体の申請があった。環境保全、青少年の健全育成、地域活性化、芸術振興などさまざまな活動を支援することができた。

今後も市民、企業、行政の3者による「協働のまちづくり」を推進していきたい。

予算関連データ 高萩市

平成20年度額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
900千円		0千円	0千円	0千円	0千円	900千円
①～④の名称・所管等	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					